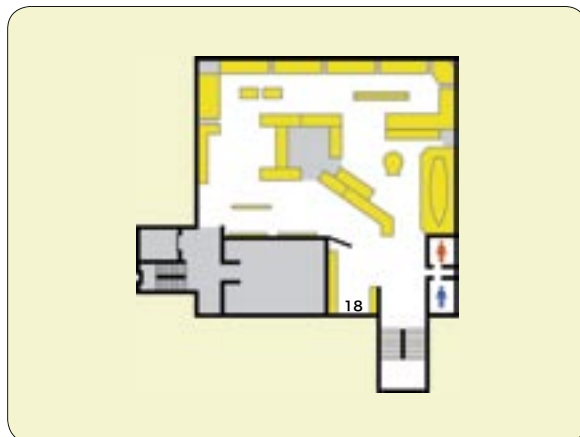


18 情報コーナー



情報コーナーには、展示ケースと情報検索端末とよぶコンピュータが置かれています。展示ケースには年三回程度行われる特別展で展示された資料などを一部展示して、終了後も皆さんに見ていただくようにしています。コンピュータは二台置かれますが、それぞれがデータベースサーバと繋がったネットワークを作り、博物館の情報にアクセスする形でいろいろ地域情報に接することが出来ます。

その仕組みはインターネットと全く同じもので、インターネットで使われるインターネットエクスプローラでホームページを見る感覚で出来るのです。



情報展示端末

- 平塚の自然散歩 平塚の遺跡
- 平塚の水辺 野鳥の観察
- 平塚の星空 星空の12カ月
- 平塚の生きものの地図
- 平塚の地形地質 身近な地学ハイキング
- 平塚の歴史散歩 平塚の道祖神
- カエルと淡水魚
- 鳴く虫・はねる虫
- 遺跡が語る地域の歴史
- 宇宙情報
- 火星大接近
- 絵馬を読む-南相模の絵馬-
- 街の中の石材
- 郷土史事典
- 相模川事典
- 近世平塚への招待-館蔵史料でみる23題
- 相模国の古墳相模川流域の古墳時代-
- 湘南のシダ 湘南の種子植物
- 食の民具たち
- 星と宇宙 星図から引く星と星座
- 相模国府とその世界
- 太陽活動を探る
- 発掘への招待 相模川流域の縄文時代

情報展示コンテンツの一部

蓄積された情報は、見る人の目的に合わせた検索方法を作らないと、うまく目的の情報を見つけられません。また、博物館の情報の特性として重要な要素に地図情報があげられます。常に地域というフィールドと結びついてこそ博物館の情報は生きるのです。そこで情報を見つけるにあたり、あいうえお順の名前から探し出す場合と地図上の場所から探し出す二通りの検索方法を作りました。

地図上での検索はまた一種旅の気分です。寄り道をするような楽しさもあります。解説文の中の文字が青色でアンダーラインが引かれているところがありますが、その文字はリンク情報と言って、関連した項目にジャンプできます。こうした方式はハイパーテキスト構造というインターネットの特徴を生かしたものです。

マウスを使って相模川流域の自然と文化、平塚の歴史をひもといてください。